

7 芸術（美術）

学校番号 208

令和3年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	美術 I（光村図書）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校の美術は高校では「美術」と「工芸」の2つの教科に分かれます。
その内、美術では①絵画・彫刻 ②デザイン ③映像メディア表現の3分野を学びます。

長尾高校では絵画作品の鑑賞を通して「美しさの要点」を見つけ、それをデザインに生かした作品制作を行います。入学当初にアクリルガッシュを全員購入してもらいますので、その絵の具を使った色彩表現が授業の中心です。

③映像メディア表現では、Google Class Room を利用し、グループでデータを共有しながらの動画編集を学びます。

2 学習の到達目標

- ① 美術作品の鑑賞や、制作を通して表現の狙いを考えることができる。（鑑賞の能力）
- ② ①の発見を体系的に捉え、使うことができる。（構想の能力、創造的な技能）
- ③ 鑑賞者に①を伝えることを目標に、丁寧に制作に取り組むことができる。（意欲・態度）

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・説明をよく聞き課題理解に努めている ・問いかけに対して発言し、自己の理解を深めようとしている ・制作に対し丁寧に取り組み、他人に表現を伝える意欲を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の要点を理解できる ・表現の「ねらい」と「技法」をリンクして考えることができる。 ・自ら「表現のねらい」を立てて、構想を練ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画材の特性を理解し制作している。 ・「ねらい」を他人に伝えるに相応の、作品の作り込みができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の鑑賞を通して、自分の考えを書き記すことができる。 ・美術作品に見られる表現技術から要点を抽出して技法として理解し、扱うことができる。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度を観察評価 ・ワークシートによるパフォーマンス評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想課題によるパフォーマンス評価 ・ワークシートやスケッチ等から「表現のねらいを設定」し「適切な技法」を選択できているか評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能課題によるパフォーマンス評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度を観察評価 ・ワークシートの記載内容について考察の深まりを評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 8週	ガイダンスⅠ週	【ガイダンス】 ○授業の受け方について ○用具の配布、準備 【絵画：素描】 ○手持ちの筆記具で手をデッサンする。	○		○		a：意欲的に取り組んでいるか？ c：イメージに走ること無く観察による表現をしている。	学習活動の様子 作品
	観察から表現する①塑造Ⅲ週	【彫刻】 ○デッサン①の合評 ○手の塑像 ・骨格の理解と骨組み ・立体としてのボリューム ・関節等のつき方 ・ディテールの表現	○ ○ ○ ○		○ ○ ○	○	a：観察の重要性を理解し、意欲的に取り組んでいる c：観察から得られる情報を素直に造形にアウトプットできている d：観察の重要性を理解し、構造の特徴を理解しようと作品とモチーフをよく見比べる事ができる	制作の様子 作品
	観察から表現する②デッサンⅤ週	【絵画】 ○塑像の合評（1h） ○遠近法の表現（1h） ○立方体を描く ・コンクリートブロックに見る透視図法（1w） ・コンクリートブロックに見る明暗解説（1h） ・9段階のグレースケール（1h） ・面の質感の表現（1w） ・合評（1h） ・合評後の修正制作（1h）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：観察からモチーフの持つ構造や魅力を発見し意欲的に取り組んでいる b：練習課題を通して、観察や表現の方法を理解し、身につけようとしている。 c：観察から得られる情報を鑑賞者に伝えるように作品に盛り込んでいる。 d：観察の重要性を理解し、構造の特徴を理解しようと作品とモチーフをよく見比べる事ができる	ワークシート 制作の様子 鑑賞活動の様子 作品
2学期 11週	レタリングⅡ週	【デザイン】 ○レタリングの復習（1w） ○アルファベットのレタリングとスペーシング（1h） ○名前のレタリング（1h）	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：美しい形を求めて意欲的に取り組んでいる b：練習課題をとおして、技術習得に励んでいる c：人に伝わるデザインを目指して丁寧に制作している。 d：参考作品からレタリング表現のポイントに気づけている。	制作の様子 ワークシート 作品
	レタリングを立体に書き直すⅤ週	【デザイン】 ○透視図法の考え方（1w） ○名前のレタリングを透視図法で書き直し、明度分割（2w） ○シルクスクリーン製版 ・マーカーで下書き（1h） ・乳剤塗布（1h） ・マーカー洗浄（1h） ・試刷（1h）	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a：透視図法の発達史から、平面上に3D表現できる面白さをしり、意欲的に取り組むことが出来る b：観測者の視点や、消失点等の仕組みを理解し制作に取り組みことが出来る。 c：鑑賞者に伝えるように表現をまとめ丁寧に制作することが出来る。 d：透視図法の発達史から、平面上に3D表現できる面白さを発見できる。	制作の様子 ワークシート 作品

3学期 6週	色彩基礎① 色相の考え方 2	【デザイン】 ○色相環で考える混色 ・アクリル絵の具の特徴 ・加法混色と減法混色 ・3原色と絵の具の色 ・色相環の考え方 ・色相環作成	○ ○	○ ○	○	a: 色彩表現の美しさを追求して制作に取り組んでいる。 b: 混色の仕組みを知り、その知識を活かして制作に取り組んでいる。 c: 平塗り等の丁寧な作業を通して、鑑賞者に色彩表現の美しさが伝わるような表現をしている。	ワークシート 制作の様子 作品
	色相対比と表現 2 3	【デザイン】【鑑賞】 ○色相対比 ・ゴッホの自画像を例に色相配色のパターン分析 ・制作した版を使った配色実験（類似色相・テトラド・補色） ・デザイン鞆への印刷	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 表現の違いに興味を持ち意欲的に取り組んでいる。 b: 鑑賞から配色のパターンと効果を理解し、配色実験に取り組んでいる。 c: シルクスクリーン印刷を理解し、きれいな印刷が出来ている d: 作例から配色の魅力を感じ取り、表現の面白さに気付くことが出来る。	ワークシート 制作の様子 鑑賞活動の様子 作品
	日本美術 物語としての表現 1	【鑑賞】【美術史】 ○日本美術：西洋と日本の表現の違い（1h） ○鑑賞「信貴山縁起絵巻」（1w）	○		○ ○	a: 説明を聞き、要点を整理して書き留めることができる。 d: 東西の芸術作品に対し「みんな違ってみんな良い」ではなく、環境によって「狙いが違う」ことに気づき、その効果を面白さとして味わうことができる。	ワークシート 鑑賞活動の様子
	手一つに動きをつけてそれらしく伝える。 2 3	【メディア表現】 ○山村浩二さんの「頭山」を鑑賞し、動画の表現の強みを学ぶ。 ○グループを作り「しりと」を行い、そのモチーフを9枚のセルで1秒程度の動画で表現する。	○ ○		○	a: 説明を聞き、表現のテーマに気づき、テーマに向かって意欲的に取り組んでいるか c: 動画の強みを理解し、9枚のセルでモチーフの構造や立体感を表現できているか。	制作の様子 作品
	メタモルフォーズ 2 3	【メディア表現】 ○山村浩二さんのインタビューをもとに、しりとりで描かれたモチーフ同士を9枚のセルで変形するように書きつなげる	○	○		a: 制作に取り組む態度を観察評価 b: 「メタモルフォーズ」というテーマに、9枚のセルで変形を行う。その際、存在しえない形を取り入れより魅力的に、滑らかに変形させることができるか。	作品のパフォーマンス評価

	撮影・編集・鑑賞 (全)	【メディア表現】 ○原稿をデジカメで撮影し、PC に取り込んで動画に変換する。	○		○		a:意欲的に取り組んでいるかを観察評価 c:カメラの使い方を理解し、ピンぼけることなく、滑らかな動画素材を作れているか	作品のパフォーマンス評価
--	-----------------	--	---	--	---	--	--	--------------

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。